



NO.25-04 2025年4月27日

<年間テーマ> 新しい歌を主に向かって歌え

<聖句>

詩編 100:1~3

全地よ、主に向かって喜びの叫びを上げよ。／喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。／知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。／わたしたちは主のもの、その主に養われる羊の群れ。

コリントの信徒への手紙Ⅱ 5:17

だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

《神戸教会は2025年に宣教開始75周年を迎えます。》

「決して滅びないもの」

今日、2025年の永眠者記念礼拝をささげます。昨年度神戸教会は4名の方とのお別れがありました。ご家族、ご友人を見送られた方もおられるかと思います。亡くなった方を神の前で記念する時に、私たちに与えられているメッセージは何でしょうか。使徒パウロがコリントの信徒へ記した手紙の中に「愛は決して滅びない」という言葉があります。この「愛」はアガペーというギリシア語で、無条件で無差別の愛という意味です。人間にこの愛があってその愛が終わらないのでしょうか。この「愛」は神が持ち、神がイエス・キリストを通して表し、人間に、世界に差し出しておられるものです。神から恵みとして与えられるものを「賜物」と言いますが、まさにその「愛」は賜物です。預言も異言も知識も廃れる、しかし信仰と希望と愛という賜物は残る。その中で最も大いなるものが「愛」だと語られます。すべての人間が神の愛を注がれています。神が創り生かし愛したいのちとして神が知っておられます。この愛は滅びないのです。神の愛の中に入れられた関係は死によって滅びないのです。私たちはこの神の愛に信頼し、神の愛の中にある永眠者を神の前で記念をしたいと思います。そして、私たち自身がこの愛を受け取り差し出して生きていきたいと思えます。【井形英絵】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30~11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前 11:45~12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前 11:45~12:40 (小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前 9:00~10:20(4月27日、5月11日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00~10:20(4月27日、5月11日)

祈禱会

毎水曜日 午後 19:00~20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ:kobe-church.com 事務局Eメール:jimukyoku@kobe-church.com



祈りの課題

- 1、神戸バプテスト教会 2025 年度の福音宣教、諸活動のために。永眠者ご家族を覚えて。永眠者記念堂の働きのために
- 2、光の丘幼稚園園児・保護者・教職員ために。2025年度の保育のために。創立70年の年を覚えて。
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、ミャンマー・タイ、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にある方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国314の教会・伝道所のために。加盟教会間の協力伝道が豊かに展開されますように。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。連合総会4月29日のために。無牧師教会を覚えて。

交読 30 詩編 139 編 1-2 節 神のみわざ

主よ、あなたはわたしを究め、わたしを知っておられる。

座るのも立つのも知り、遠くからわたしの計らいを悟っておられる。

歩くのも伏すのも見分け、私の道にどこどことく通じておられる。

わたしの舌がまだひと言も語らぬさきに、主よ、あなたはすべてを知っておられる。

前からも後ろからもわたしを囲み、御手をわたしの上に置いていくたさる。

その驚くべき知識はわたしを超え、あまりにも高くて到達できない。

どこに行けば、あなたの霊から離れることができよう。

どこに逃れば、御顔を避けることができよう。

天に登ろうとも、あなたはそこにいます。

陰府に身を横たえようとも、見よ、あなたはそこにいます。

曙の翼を駆って海のかなたに行き着こうとも

あなたはそこにもいまし、御手をもってわたしを導き、

右の御手をもってわたしをとらえてくださる。

わたしは言う。「闇の中でも主はわたしを見ておられる。

夜も光がわたしを照らし出す。」

闇もあなたに比べれば闇とは言えない。

夜も昼も共に光を放ち、闇も、光も、変わるどころがない。